

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
学外実習 (Internship)	選	土井正光	4 年 生 物質工学科	1	夏季または春季 休業中 30時間以上							
授業概要	学外実習は、これまでに学習した物質工学に関する専門知識等を活用し、夏季または春季休業中に民間企業等での就業体験や大学等での研究体験を行うものである。実習先と実習期間は本校事務を通じて決定される。実習終了後、実習報告書を作成し、実習成果発表会を実施する。											
到達目標	(1)実習先の就業規則等に従い、30時間以上の就業または研究体験を誠実に行う。 (2)学外実習の内容（社外秘を除く）を整理し、報告書を作成できる。 (3)学外実習の内容（社外秘を除く）を整理し、口頭発表を行うことができる。											
評価方法	就業・研究体験 4 0 %、実習報告書 4 0 %、実習成果発表 2 0 % で評価し、6 0 点以上を合格とする。											
教科書等												
内 容					学習・教育目標							
第 1 週					C							
第 2 週					C							
第 3 週					C							
第 4 週					C							
第 5 週					C							
第 6 週					C							
第 7 週					C							
第 8 週					C							
第 9 週												
第 1 0 週												
第 1 1 週												
第 1 2 週												
第 1 3 週												
第 1 4 週												
第 1 5 週												
第 1 6 週												
第 1 7 週												
第 1 8 週												
第 1 9 週												
第 2 0 週												
第 2 1 週												
第 2 2 週												
第 2 3 週												
第 2 4 週												
第 2 5 週												
第 2 6 週												
第 2 7 週												
第 2 8 週												
第 2 9 週												
第 3 0 週												
(特記事項)		JABEE との関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
		本校の学習	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B
		・教育目標										

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、6 0 点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験実施した場合の各定期試験の評価分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

4年生物質工学科
学外実習 選択 1単位
担当 土井

学外実習は、これまでに学習した物質工学に関する専門知識等を活用して、夏季休業中または春季休業中に企業等における就業体験や大学等での研究体験を行うものである。

実習先・実習期間については、学外実習生受け入れ企業等から本校学生係を通じてクラスに連絡が下り、希望順により決定される。決定までの大凡の流れは下記のとおりである。

4月	ガイダンス, 学生の希望・連絡方法等調査
5月以降	実習受入先の掲示, 実習希望者の調整 学外実習申込書等必要書類を作成・提出 学外実習の受入可否通知
7月初旬	学外実習履修届記入・提出
夏季休業	実習開始
10月初旬	実習報告会

実習先が設定したテーマで就業・研究体験を実施する。実習先の就業規則を遵守し、指導者等の指示に従い、誠実に履修すること。実習期間中は絶えずメモをとり、疑問点等は自分で調べたり、指導者に質問すること。実習先によっては報告書の作成や報告会を義務付けているところもあるので、しっかり実習内容を把握・整理しておくこと。期間は実習先が設定した日数となるが、単位修得のためには30時間以上が必須となる。

実習終了後、実習報告書を作成し、実習成果発表会(パソコンによる口頭発表)を学内で行う。学外実習を通じて、社会人としての規律を体験し、実社会で直面する諸課題に積極的に取り組むことができる素養と報告書や口頭で発表できる能力を養成する。

和歌山県内企業については和歌山県経営者協会が本校学生係と受け入れ企業間に入るために、注意が必要。全ての連絡は学生係を通じて行うことになる。一方、和歌山県外企業については、学生係または4年担任が直接調整することになる。受け入れ申込期間は和歌山県内と県外で大幅に異なるので、予め希望する企業を選択しておく方が対応しやすい。